

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2022年7月～9月期 NO. 68

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

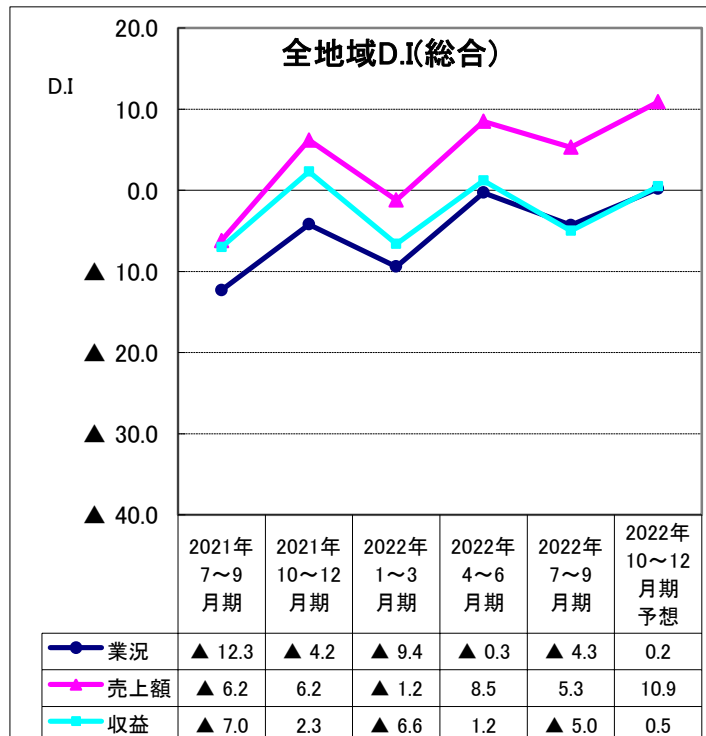
【概況】 2022年7月～9月期の業況は▲4.3、前期比 4.0ポイントマイナスと低迷しました。
来期は両地域とも上向き見通しです。

景気動向調査主要指数D.I (総合)

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2022年 4月～6月期	2022年 7月～9月期	2022年 10月～12月 期予想	2022年 4月～6月期	2022年 7月～9月期	2022年 10月～12月 期予想	2022年 4月～6月期	2022年 7月～9月期	2022年 10月～12月 期予想
業況	▲ 0.3	▲ 4.3	0.2	1.8	▲ 3.3	1.9	▲ 0.7	▲ 4.4	▲ 1.8
売上額	8.5	5.3	10.9	10.3	4.0	14.3	9.1	8.3	6.9
収益	1.2	▲ 5.0	0.5	0.0	▲ 8.1	0.0	5.1	0.7	0.7
販売価格	19.2	20.5	20.6	23.4	25.0	24.0	16.4	18.1	18.9
仕入価格	44.6	47.2	39.5	51.3	55.3	45.8	38.0	38.5	33.2
在庫	▲ 1.8	▲ 3.8	▲ 3.6	0.5	▲ 2.9	▲ 2.4	▲ 8.2	▲ 8.6	▲ 7.7
資金繰り	▲ 1.8	▲ 1.7	14.0	▲ 0.4	▲ 1.8	14.3	▲ 1.8	▲ 1.1	17.0
人手	▲ 16.8	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 19.4	▲ 23.1	▲ 22.1	▲ 13.9	▲ 11.3	▲ 12.8
設備状況	▲ 6.2	▲ 9.4	▲ 10.1	▲ 3.9	▲ 9.9	▲ 10.3	▲ 7.4	▲ 9.6	▲ 9.1

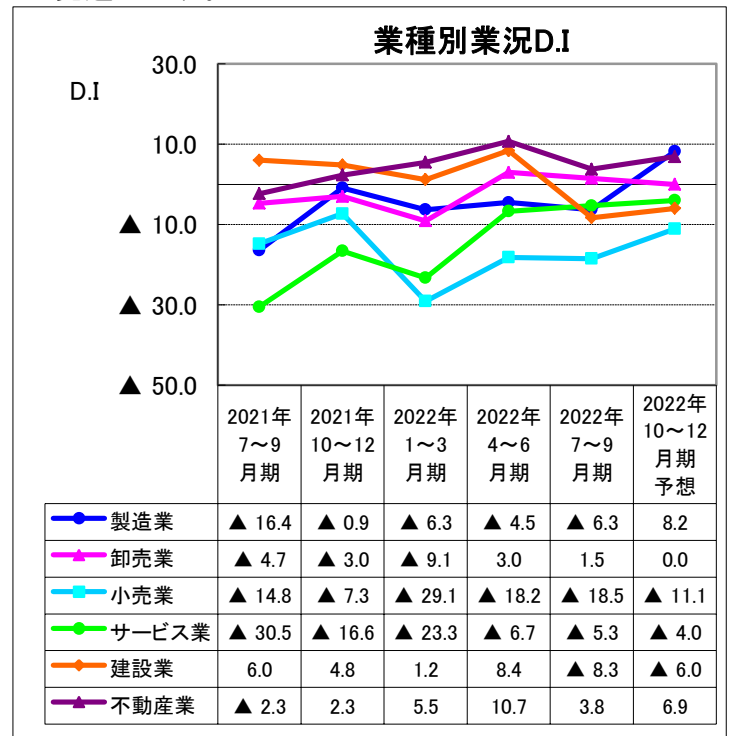
2022年7月～9月期実績

《 サービス業で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは▲4.3、前期比4.0ポイントマイナスと低迷しました。全地域の業種別では、サービス業において上向きしました。



2022年10月～12月期見通し

《 両地域とも上向き見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは0.2、当期比4.5ポイントプラスと好転する見通しです。全地域の業種別では、卸売業以外の業種において上向き見通しです。地域別では、両地域とも上向き見通しです。



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2022年9月上旬

3. 調査対象期間

2022年7月～9月期実績（2022年4月～6月期との比較）

2022年10月～12月期予想（2022年7月～9月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

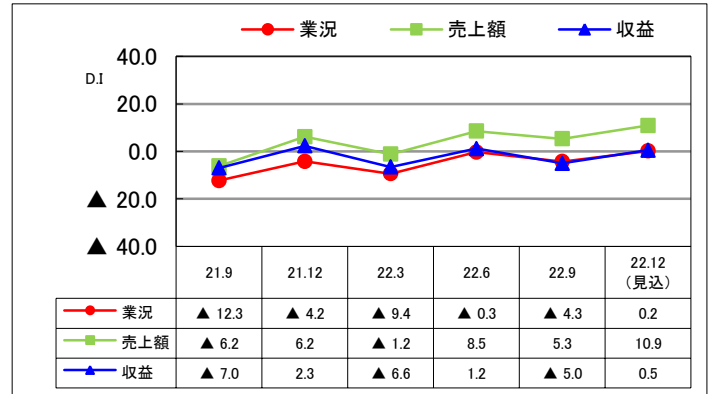
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	112	100.0%
卸売業	67	67	100.0%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	600	100.0%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは▲4.3、前期比4.0ポイントマイナス（前年同期比+8.0）と低迷しました。業種別では、サービス業において上向きました。

来期予想D.Iは0.2、当期比4.5ポイントプラスと好転する見通しです。業種別では、卸売業以外の業種において上向き見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは5.3、前期比3.2ポイントマイナス（前年同期比+11.5）と増加幅が縮小しました。業種別では、不動産業において上向きました。

来期予想D.Iは10.9、当期比5.6ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、全業種において上向き見通しです。

3. 収益

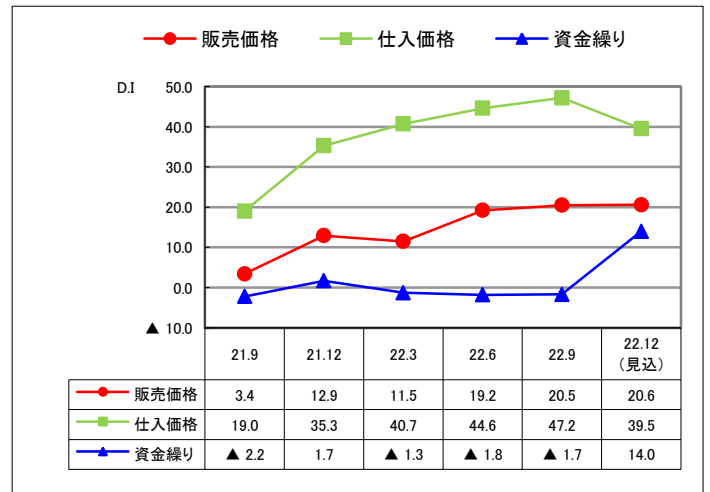
全業種における収益D.Iは▲5.0、前期比6.2ポイントマイナス（前年同期比+2.0）と水面下に落ち込みました。業種別では、全業種において低迷しました。

来期予想D.Iは0.5、当期比5.5ポイントプラスと好転する見通しです。業種別では、全業種において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲1.7、前期比0.1ポイントプラス（前年同期比+0.5）と厳しさが和らぎました。業種別では、製造業、小売業において和らぎました。

来期予想D.Iは14.0、当期比15.7ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは20.5、前期比1.3ポイントプラス（前年同期比+17.1）と上昇幅が拡大しました。業種別では、製造業、小売業、不動産業において上昇しました。

来期予想D.Iは20.6、当期比0.1ポイントプラスとさらに上昇幅が拡大する見通しです。業種別では、サービス業、建設業、不動産業において上昇する見通しです。

6. 仕入価格

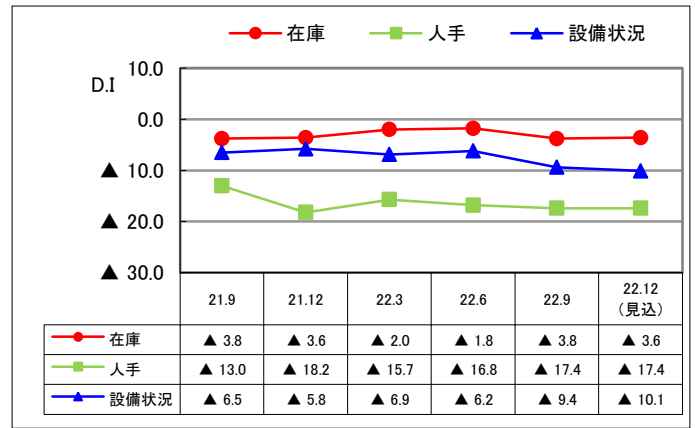
全業種における仕入価格D.Iは47.2、前期比2.6ポイントプラス（前年同期比+28.2）と上昇幅が拡大しました。業種別では、卸売業、建設業において低下しました。

来期予想D.Iは39.5、当期比7.7ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲3.8、前期比2.0ポイントマイナス（前年同期比 0.0）と不足感が強まりました。業種別では、卸売業、小売業、建設業で不足感が強まりました。

来期予想D.Iは▲3.6、当期比0.2ポイントプラスと不足感が改善する見通しです。業種別では、卸売業、建設業、不動産業で不足感が改善する見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲17.4、前期比0.6ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.4）と不足感が強まりました。業種別では、卸売業、サービス業、建設業、不動産業で不足感が強まりました。

来期予想D.Iは▲17.4、当期と横ばいで推移する見通しです。業種別では、小売業、不動産業で横ばいで推移する見通しです。

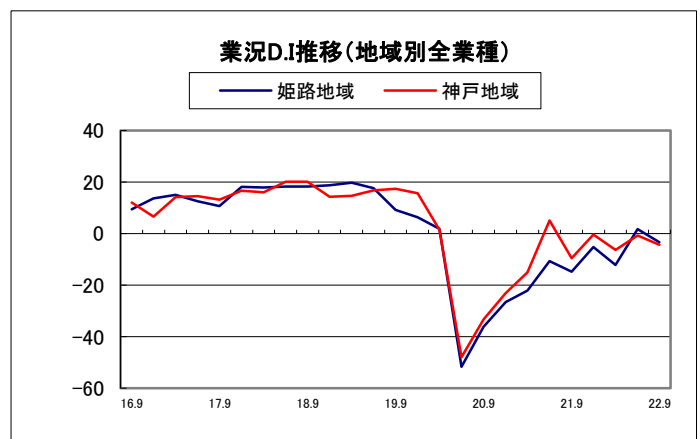
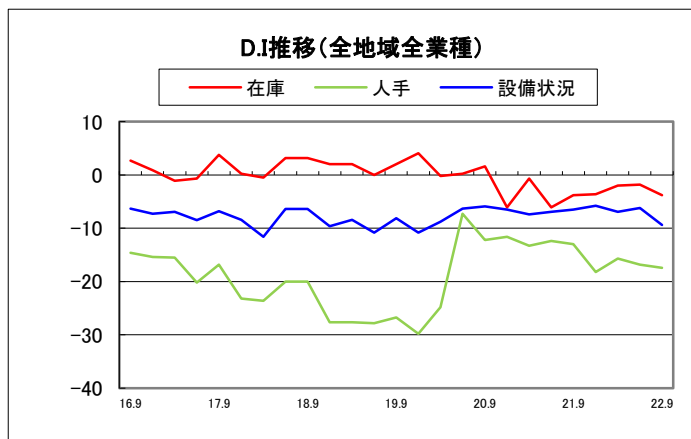
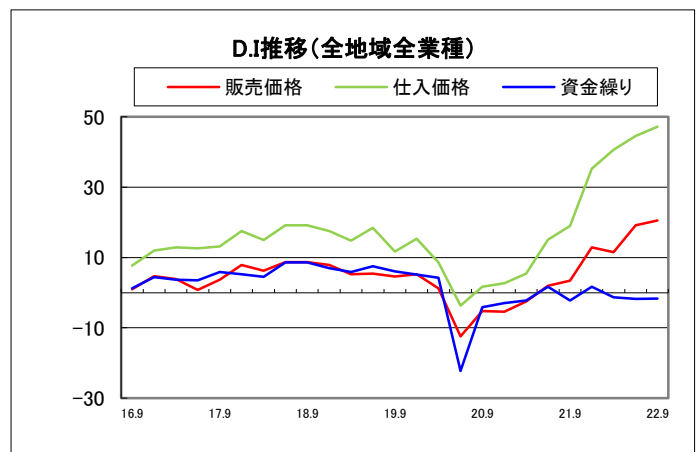
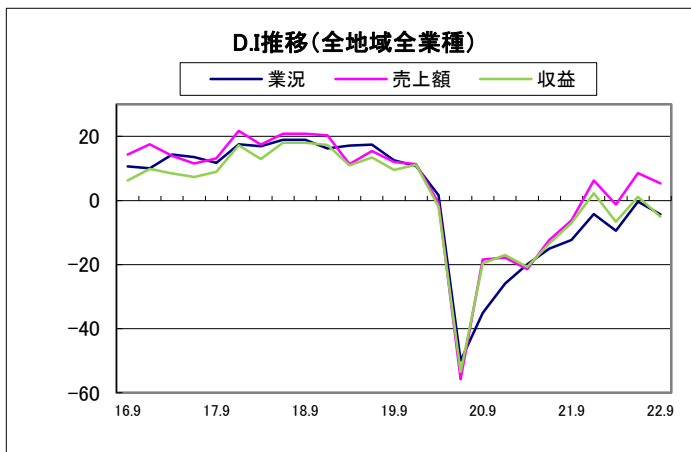
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲9.4、前期比3.2ポイントマイナス（前年同期比▲2.9）と低迷しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は30.6%、前期比▲2.0ポイントマイナス（前年同期比▲1.2）と減少しました。また業種別では、製造業、建設業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は32.7%、当期比増加2.1ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移



地域別景況D. I

□ 全業種総合

(姫路地域) 回答企業324企業 (回答率100.0%)
(神戸地域) 回答企業276企業 (回答率100.0%)

1. 業況

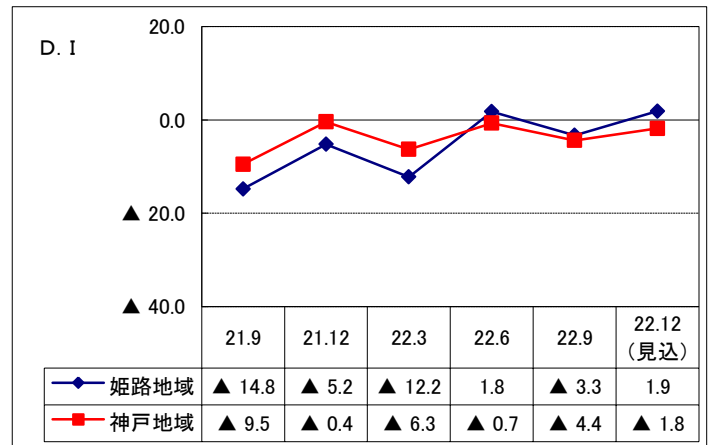
姫路地域の業況D. Iは▲3.3、前期比5.1ポイントマイナス（前年同期比+11.5）と厳しさを強めました。

来期予想D. Iは1.9、当期比5.2ポイントプラスと好転する見通しです。

神戸地域の業況D. Iは▲4.4、前期比3.7ポイントマイナス（前年同期比+5.1）と低迷しました。

来期予想D. Iは▲1.8、当期比2.6ポイントプラスと上向き見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも悪化しました。



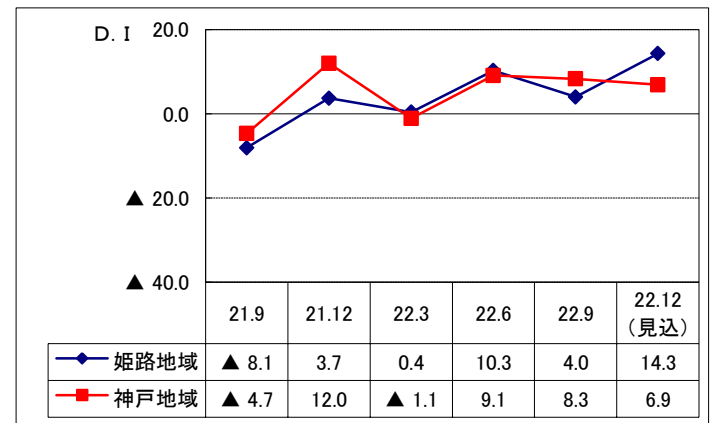
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは4.0、前期比6.3ポイントマイナス（前年同期比+12.1）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは14.3、当期比10.3ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは8.3、前期比0.8ポイントマイナス（前年同期比+13.0）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは6.9、当期比1.4ポイントマイナスとさらに増加幅が縮小する見通しです。



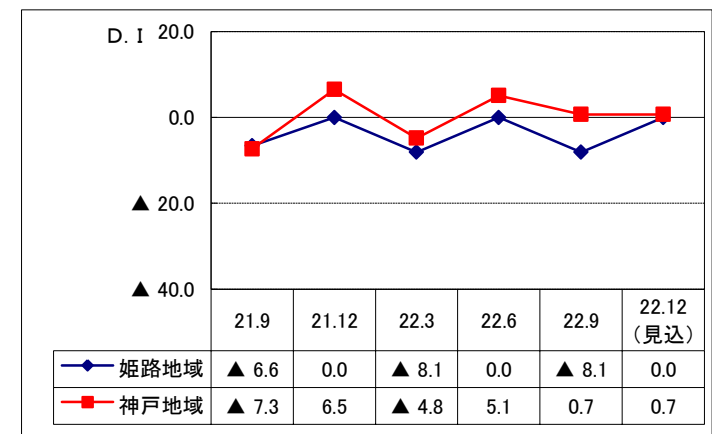
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは▲8.1、前期比8.1ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.5）と水面下に落ち込みました。

来期予想D. Iは0.0、当期比8.1ポイントプラスと好転する見通しです。

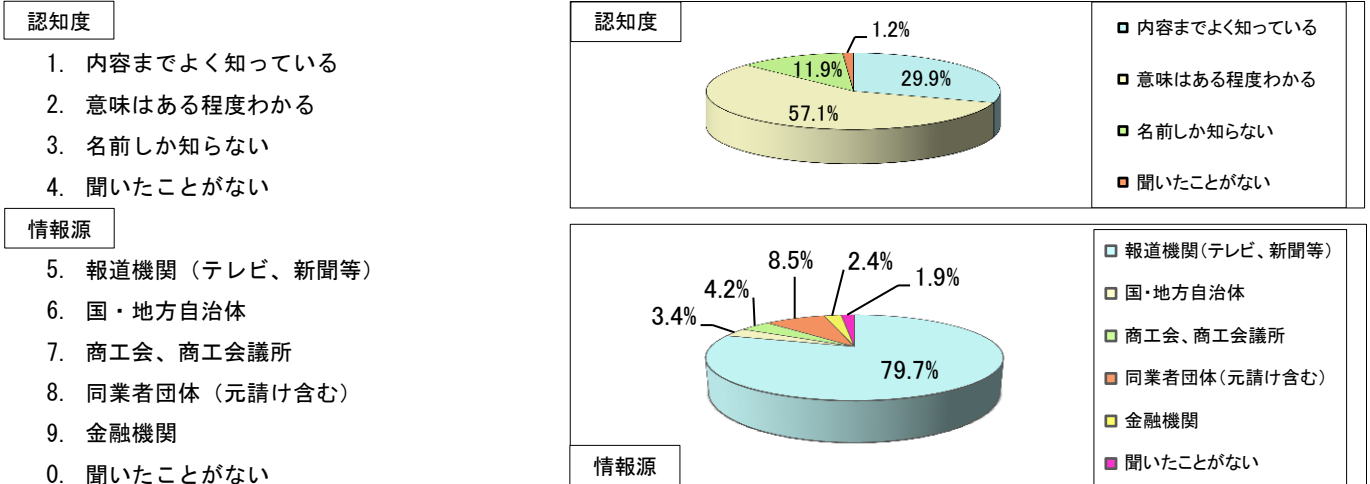
神戸地域の収益D. Iは0.7、前期比4.4ポイントマイナス（前年同期比+8.0）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは0.7、当期と横ばいで推移する見通しです。



中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について

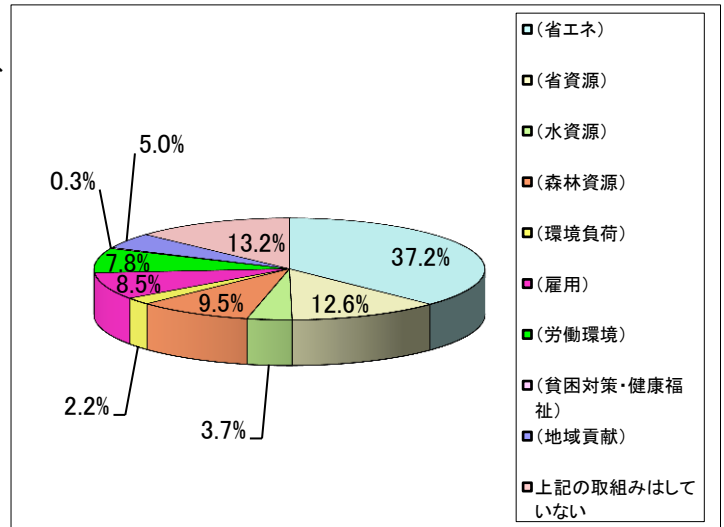
問1 貴社では、SDGsについてどのような認知度にありますか。下記の1～4の中から1つ選んでお答えください。また、SDGsについて、どういった機関から情報を得ていますか。下記の5～0の中から1つ選んでお答えください。



「貴社では、SDGsについてどのような認知度にありますか」について、最も多い回答は「意味はある程度わかる」57.1%、次いで「内容までよく知っている」29.9%、「また、SDGsについて、どういった機関から情報を得ていますか」について、最も多い回答は「報道機関（テレビ、新聞等）」79.7%、次いで「同業者団体（元請け含む）」8.5%という結果となりました。

問2 下記の1～9の取組みは、いずれもSDGsの理念と一致しています。貴社では、これらの取組みを行っていますか。もっとも取組んでいるものを最大3つまで選んでお答えください。取組んでいない方は0とお答えください。

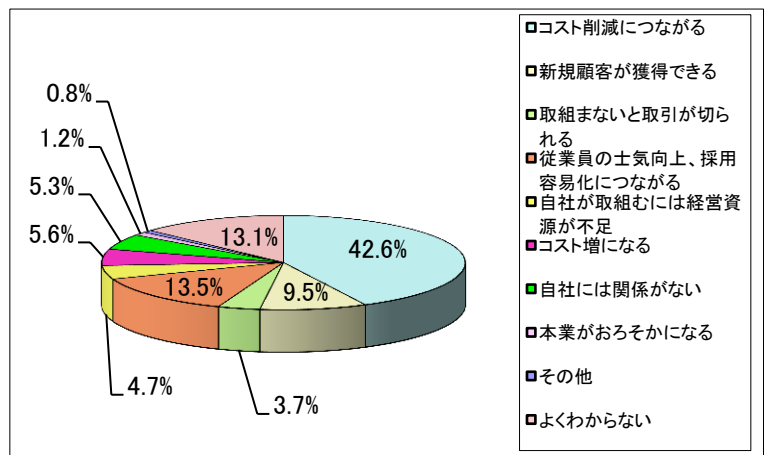
- （省エネ）省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用
- （省資源）再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理
- （水資源）水使用量削減、排水管理
- （森林資源）ペーパーレス化、緑化・植林
- （環境負荷）グリーン調達、カーボンオフセット、有害物質の削減
- （雇用）女性や高齢者、障がい者、外国人等の多様な人材の雇用
- （労働環境）研修の充実、働き方改革の実施
- （貧困対策・健康福祉）フェアトレード、途上国支援
- （地域貢献）防犯、防災、寄付、まちづくり
- 上記の取組みはしていない



「1～9の取組みは、いずれもSDGsの理念と一致しています。貴社では、これらの取組みを行っていますか。もっとも取組んでいるものを最大3つまで選んでお答えください」について、最も多い回答は「（省エネ）」37.2%、次いで「上記の取組みはしていない」13.2%、「（省資源）」12.6%という結果となりました。

問3 貴社では、企業がSDGsに取組むことについてどのような印象を持っていますか。1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。

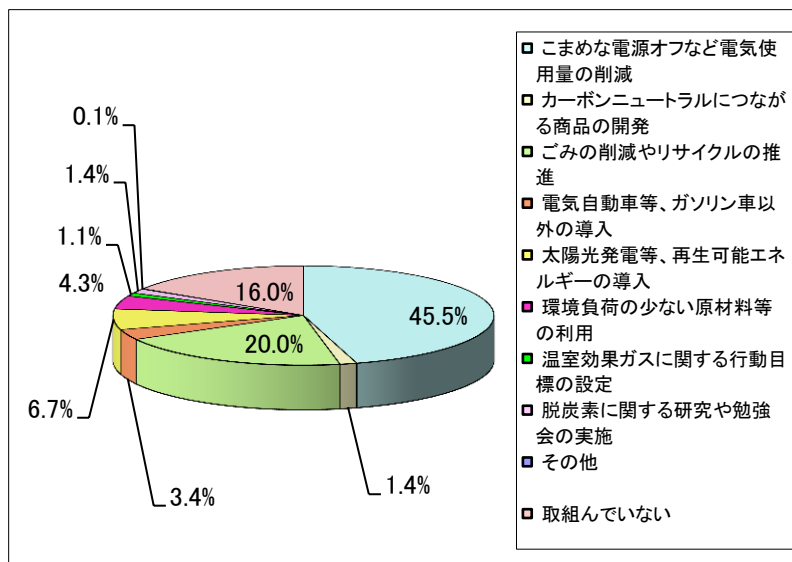
- コスト削減につながる
- 新規顧客が獲得できる
- 取組まないと取引が切られる
- 従業員の士気向上、採用容易化につながる
- 自社が取組むには経営資源が不足
- コスト増になる
- 自社には関係がない
- 本業がおろそかになる
- その他
- よくわからない



「貴社では、企業がSDGsに取組むことについてどのような印象を持っていますか」について、最も多い回答は「コスト削減につながる」42.6%、次いで「従業員の士気向上、採用容易化につながる」13.5%、「よくわからない」13.1%という結果となりました。

問4 SDGsの取組みの一つとして、カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化)に関する取組みがありますが、貴社で取組まれている施策は何ですか。1~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

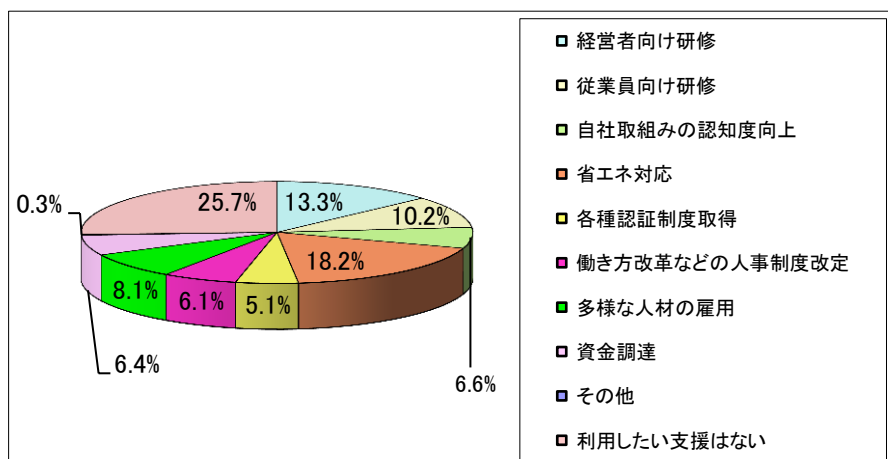
1. こまめな電源オフなど電気使用量の削減
2. カーボンニュートラルにつながる商品の開発
3. ごみの削減やリサイクルの推進
4. 電気自動車等、ガソリン車以外の導入
5. 太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入
6. 環境負荷の少ない原材料等の利用
7. 温室効果ガスに関する行動目標の設定
8. 脱炭素に関する研究や勉強会の実施
9. その他
0. 取組んでいない



「SDGsの取組みの一つとして、カーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化)に関する取組みがありますが、貴社で取組まれている施策は何ですか」について、最も多い回答は「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」45.5%、次いで「ごみの削減やリサイクルの推進」20.0%、「取組んでいない」16.0%という結果となりました。

問5 SDGsについて、外部機関(公的、民間問わず。)からどのようなサポートを期待しますか。1~0の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 経営者向け研修
2. 従業員向け研修
3. 自社取組みの認知度向上
4. 省エネ対応
5. 各種認証制度取得
6. 働き方改革などの人事制度改定
7. 多様な人材の雇用
8. 資金調達
9. その他
0. 利用したい支援はない



「SDGsについて、外部機関(公的、民間問わず。)からどのようなサポートを期待しますか」について、最も多い回答は「利用したい支援はない」25.7%、次いで「省エネ対応」18.2%、「経営者向け研修」13.3%という結果となりました。